

広島大学マスタース会員紹介



2020.1.11 更新

氏 名 遠 藤 一 太 (えんどう いちた)

退職年 平成19(2007)年

職歴等

広島大学退職時の所属部局 先端物質科学研究科

現職

専門分野 素粒子実験分野の研究

専門にかかわらない特技、趣味等 退職後、工業高等専門学校¹の教育に関わったことをきっかけに、「ものづくり」の面白さにハマっていて、電子工作、木工、ミニ農園などを楽しんでいる。呉市、広島市で「つくれば工房」というサークルを作って、毎週5~10名程度の仲間と活動していた。広島大学退職後10年、呉高専退職後5年目である2017年12月からは活動地域を東広島にして、「ものづくり」の楽しさを多くの人と共有したいと思っている。

職歴等主な活動歴 広島大学理学部物理学科教授、広島大学先端物質科学研究科教授、同研究科長、広島大学入学センター長、独立行政法人国立高等専門学校機構²呉工業高等専門学校校長

地域社会での主な活動歴

著書

マスタースでの活動

2018年ちゅーピー東広島大学講師 (素粒子を見る)

2020年広島リカレント学院講師 教養講座(第1期)「LEDを光らせて電流と電圧を考える」

地域社会での活動可能事項

- 小学生や園児へ向けて 工作や実験をしながら学ぶサイエンスと情報教育の補助
- 中学生へ向けて 工作や実験をしながら学ぶサイエンスと情報教育の補助
- 高校生へ向けて 工作や実験をしながら学ぶサイエンスと情報教育の補助
- 成人へ向けて 希望する対象者：キーボード入力ができる方
主な活動内容：3Dプリンター等のデジタル製作の体験機会の提供

○その他、地域社会において可能な活動　ほぼ自由に参加できるものづくりスペース（つくれば工房）を設置して、参加者との交流を通じてIoTやAI、新しいものづくり方法など学び合いたい。また、地域の外国人に対する日本語学習支援も考えている。

